

ブックトークとは、いろいろなテーマに沿って本を紹介することです。  
おはなし会とは違い、途中までしか読まなかったり、内容だけを紹介するだけの本もあります。

終わってから、「続きが気になるな、あの本が読みたいな」と思う本が一冊でもあればうれしいです。最近国語の授業で『三年とうげ』という昔話をならったと聴きました。このお話は、韓国という国のお話です。そこで、今回は「世界のくに」というテーマで本を紹介していきたいと思います。

さて、世界には、砂漠があったりジャングルがあったり。いろんな国があります。

（世界地図を黒板に貼る・紹介した国に国旗のマグネットを貼っていく）

そんな国の一つ一つに国の旗があります。

次に紹介するのは、そんな国旗の図鑑です。

『世界の国旗クイズ図鑑』

→（表紙を見せる）

→（日本の国旗を見せる）

この国の旗はわかりますね。日本の旗です。日本の旗は、日の丸とも呼ばれています。この赤い丸が太陽です。

ではここで、クイズをします。

次の国旗の内、太陽が描いてあるのはどれでしょう？2個あります。

→（問題の国旗を見せる（ブックエンドを使って立てる）韓国・バングラディッシュ・パオ・ラオス・ニジェール）

答えは2個あります。1人2回手を挙げてくださいね。

①だと思ふ人…②だと思ふ人…（順に訊く）

正解はバングラディッシュとニジェールでした！

太陽は、世界のどこからでも見えるので、いろんな国の国旗に描かれています。でも、日本の国旗のように赤い丸で描いてあるのはあまりありません。

中には顔がある太陽もあります。

→（国旗に描かれた太陽の絵を見せる）

この太陽が描いてあるのはどの国の旗か、この本に載っているので、気になったら確かめてみてくださいね。

さていろんな太陽の国旗が出てきましたが、世界には太陽が沈まない国とよばれた国があります。それはイギリス。（地図を示しながら）こんな小さな国ですが、世界の各地に領地を持っていたので、いつも領地のどこかで太陽を見ることができたのです。

そんなイギリスには、こんな昔話があります。

『わたしゃほんとにうんがいい』

→ (途中まで読む)

さて、このあとおばあさんが家に帰るころ引っ張っていたものはどうなったのでしょうか？ 続きはこの本を読んでみてくださいね。

おばあさんが引っ張っていたものが最初は金貨だったのに知らないうちに次々にいろんなものになっていきましたね。石になったところまで読みましたが、石って手で表すとどんな形でしょう？

そうグーですね。ではこれは？ (チョキをだす) そうはさみ。これは (パーをだす) 紙です。この手の形を使ってするのはじゃんけんですね。

ではちょっとやってみましょう。じゃーんけーんぽん！ (パーをだす)

僕に勝った人、そうチョキ (はさみ) は紙に勝ち、グー (石) に負ける。グーは、はさみに勝ち紙に負けます。パー (紙) は石に勝ち、はさみに負けます。

そんなじゃんけんは、世界のほかの国でもあるって知っていましたか？

次に紹介するのはそんな、世界のじゃんけんの本です。

『世界のじゃんけん』

→ (表紙をみせる)

ではもう一度やってみます。

じゃーんけーんぽん！ (ピュイをだす)

この形知っていますか？ これはフランスのじゃんけんで井戸を表すそうです。井戸は石とはさみを沈めるので勝ち。木の葉は井戸をふさぐので井戸に勝つそうです。

三種類の手の形が多いのですが、中には四種類の国もあります。

他にも足とするじゃんけんやじゃんけんの歴史、手話とするじゃんけんも載っているので、この本を読んでいろんなじゃんけんをやってみてくださいね。

さてみなさんはどんなときにじゃんけんをしますか？

ぼくが、小学校のときは給食のあまりをもらう人を決めるのによくじゃんけんをしていました。負けてしまったら、勝った人のゼリーがおいしそうで悔しかった思い出があります。

みなさん人のもののほうが良くみえることがありますよね。あっちの方がいいとか、そっちの方が楽そうとか。そんな人の仕事が楽そうに見えて、取り替えてしまったお話があります。

ノルウェーのおはなしです。

『あべこべものがたり』

おかみさんの仕事が気に食わなかったフリツルさんは、自分の仕事とおかみさんの仕事を取り替えることになりました。

次の日、朝早くおかみさんは草刈がまを担いで干草を刈りに出かけました。

フリツルさんは、家でこまごまとしたことをします。

さて、どうなったかというところ…

→ (p52～60を読む)

さて、どうしてこんなことになったのでしょうか？

続きはこの本を開いて確かめてください。

おかみさんがいない間に、牛が宙に浮くことになってしまいました。世界のどこからでも見えるものも宙に浮いています。

それは何でしょう？

そうそれは、宇宙に浮かぶ太陽や月などの星です。

### 『月の満ちかけ絵本』

月は、太ったり痩せたりするのを知っていますか。だいたい30日かけて、月は満ち欠けします。

1日目のお月様はどんな形をしていると思いますか？

→ (p6をひらく)

なんと1日目の月は見えないんです。

そして、2日目の月は二日月、3日目の月は三日月です。どんどん月は満ちていきます。ちょうど半分になった月のことを半月といいますね。

太ってまんまるになったお月様のことを満月といいます。ほぼ15日目のお月様なので、十五夜ともいいますね。一晩中見えるのは、この満月だけです。

さて、この満月には、ウサギがいるといわれています。

月の模様がウサギに見えるというのですが、どうでしょうか？

この本にはそんな、豆知識も載っています。

(月のパネルを見せる。マグネットを貼る。

日本→ウサギ 東ヨーロッパ→髪の毛の長い女性 北ヨーロッパ→本を読むおばあさん

南ヨーロッパ→大きなはさみのカニ アラビア→ライオン ドイツ→薪を担ぐ男)

まだ、習っていない内容で、難しいかもしれませんが、気になった人は挑戦してみてください。いろいろな月の呼び方やおはなしが書かれています。

この月はみなさん何色にみえますか？

この写真では、白黒にみえますが、実際にはもっと黄色っぽく見えますよね。

黄色いものって何を思い浮かべますか？

次に紹介するのは、色から世界の国の暮らしが分かる本です。

### 『おとうとは青がすき』

みなさんは、青いものと言えばどんなものを思い浮かべますか？

この本の舞台はアフリカのエチオピア。おなじ色でも日本とは思い浮かぶものが違うようです。

(p4赤い画用紙で隠しておく) 赤色と言えば何を思い浮かべるかな？→ (p4を読む)

(p5黄色い画用紙で隠しておく) 黄色と言えば？→ (p5を読む)

ほかにも、緑や黒・ピンクなど身近な色を通して、エチオピアの暮らしがわかる本です。

みんなも自分が何を思い浮かべるか考えながら読んでみて下さいね。

さて、世界にはいろいろな国がありましたね。

→ (世界地図を指でなぞる)

最後にそんな世界を巡る絵本を紹介したいと思います。

『せんをたどってせかいっしゅう』

→ (途中まで読む)

さあ、このあとどんなところをめぐるのか。みんなもせんをたどってみてくださいね。

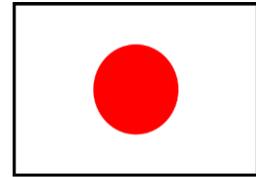
さて、ここまで「世界のくに」というテーマで本を紹介してきました。読んでみたい本はありましたか？

今日紹介した本のリストをお渡ししておきます。気になった本があったら、後でこの中をさがしてみてください。

ありがとうございました。

# ～せかいのくに～

せかい こっき すかん  
『世界の国旗クイズ図鑑』 あかね書房



『わたしゃほんとにうんがいい』

せなけいこ ぶん え しゅっぱん  
文・絵 すずき出版



『世界のじゃんけん』 たなか ちよ いまじんしゃ  
田中ひろし 著 今人舎

『あべこべものがたり』 みつよしなつや さいわ だいにほんとしょ  
光吉 夏弥 再話 大日本図書

つき み えほん  
『月の満ちかけ絵本』

おおえだしろう ぶん さとう え しよぼう  
大枝 史郎 文 佐藤みき 絵 あすなろ書房



『おとうとは青がすき』

イフェオマ・オニェフル さく しゃしん やくかいせいしゃ  
作・写真 さくまゆみこ 訳 偕成社

『せんをたどってせかいいっしゅう』

ローラ・ユンクヴィスト さく ふしみみさを やく こうだんしゃ  
講談社

